



平成26年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年4月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ネットプライスドットコム

コード番号 3328 URL <http://www.netprice.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼グループCEO (氏名) 佐藤 輝英

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼グループCFO (氏名) 中村 浩二

TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	5,954	11.9	154		134		118	
25年9月期第2四半期	5,322	0.3	76		56		24	

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 108百万円 (%) 25年9月期第2四半期 118百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	10.17	
25年9月期第2四半期	2.15	

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第2四半期	7,975	4,813	58.9	387.27
25年9月期	6,435	4,112	62.5	360.37

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 4,700百万円 25年9月期 4,025百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期		0.00		0.00	0.00
26年9月期		0.00			
26年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 26年9月期の配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	9,354	19.9	294		284		308		26.43
	～ 9,554	～ 22.5	～ 154		～ 134		～ 208		～ 17.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 通期の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く事業環境の変化が早く、また当社が展開する事業が多岐にわたっているため、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは、極めて困難であると考えております。

そのため、四半期ごとに行っている業績発表に併せて翌四半期の業績見通しを公表いたします。

なお、実際の業績が、公表された業績予想の範囲に対し大きく異なる可能性があります。その場合には、速やかに業績予想の修正を公表することといたします。

2. 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

連結業績予想における1株当たり四半期純利益につきましては、株式分割を考慮した額を記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	12,266,600 株	25年9月期	11,306,600 株
期末自己株式数	26年9月期2Q	128,200 株	25年9月期	135,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	11,686,303 株	25年9月期2Q	11,157,000 株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、今期の戦略テーマとして「グローアウト（脱皮）戦略」を掲げ、バリューサイクル部門とクロスボーダー部門の各市場における圧倒的No. 1の地位の確立、リテール・ライセンス部門における、スマートフォンに特化したサービス構築とエンタメ事業の拡大による収益化の実現、インキュベーション事業におけるスマートフォンにフォーカスした新規事業開発と、北米や新興国を中心とした投資育成活動（BEENOS活動）の本格化、を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,954,920千円（前年同期比11.9%増）、営業損失は154,044千円（前年同期は営業利益76,482千円）、経常損失は134,992千円（前年同期は経常利益56,338千円）、四半期純損失は118,837千円（前年同期は四半期純損失24,006千円）となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

当社グループは、今期より事業構造の変化と各事業の成長に合わせて事業セグメントを変更しております。変更内容は以下のとおりです。

() 「ギャザリング部門」を「リテール・ライセンス部門」に変更

主な販売方式をギャザリングという売り方からワンプライスでの販売方法にシフトしたこと、商品プロデュース・ライセンス事業の拡大により、新規事業の集合体である「インキュベーション事業」から分離させ、従来の「ギャザリング部門」と統合し、セグメント名称を「リテール・ライセンス部門」に変更いたしました。

() 「クロスボーダー部門」に「転送サービス・代理購入事業」を追加

転送サービス・代理購入事業の拡大により、新規事業の集合体である「インキュベーション事業」から分離させ、「クロスボーダー部門」に区分いたしました。

() 「インキュベーション事業」に「投資育成事業」を追加

投資育成事業を本格化することに伴い、グループの主要事業として注力してまいります。それに伴い、セグメント情報においては「インキュベーション事業」に区分いたしました。

Eコマース事業

バリューサイクル部門におきましては、高単価商品の買取訴求による取扱商品単価の引き上げ施策を実施し、出品業務のクラウドソーシングの活用やオペレーションの見直しによる効率化などに取り組み、売上高を伸ばすことができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,628,185千円（前年同期比19.2%増）、営業利益は4,136千円（前年同期比97.5%減）となりました。

リテール・ライセンス部門の「ネットショッピング事業」におきましては、スマートフォンでの販売を強化するための諸施策の実施、商品構成の見直しによる粗利率の改善を進めた他、提携先の拡大に努めました。

「商品プロデュース・ライセンス事業」におきましては、販売先と共同での商品開発を積極的に進めたこと、流通販路の展開を強化したことにより、ライセンス事業は順調に推移しました。また、アーティスト関連公式グッズの商品企画及びECサイト・イベント会場での販売を行うエンタメ事業についても、アーティスト数の拡大等により売上高が増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,348,784千円（前年同期比8.3%減）、営業損失は16,303千円（前年同期は営業利益19,551千円）となりました。

クロスボーダー部門の「グローバルショッピング事業」におきましては、欧州にて先行開始した留め置きサービスの米国への全面展開による利便性の向上、取り扱い商品数の増加等により、売上が復調しました。

「海外転送・代理購入事業」におきましては、転送事業、代理購入事業ともに会員数が順調に増加しており、売上、利益とも拡大を続けております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は843,521千円（前年同期比54.6%増）、営業利益は31,341千円（前年同期比59.7%減）となりました。

Eコマース事業全体では、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,820,491千円（前年同期比9.6%増）、営業利益は19,173千円（前年同期比92.7%減）となりました。

インキュベーション事業

スマートフォンアプリの知育コンテンツ配信事業においては、ダウンロード数が順調に推移しており、本年3月には、童謡や童話の英語版を日本国内を含め世界156の国と地域に配信を開始しました。

また、投資育成事業においては、北米地域における最先端のインターネットビジネスの発掘、新興国におけるインターネット関連企業へのインキュベーション活動を積極的に進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は136,529千円（前年同期は売上高12,192千円）、営業損失は82,939千円（前年同期は営業損失56,547千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

() 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,540,210千円増加し、7,975,923千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が6,815,451千円となり、前連結会計年度末と比べ2,521,143千円の増加となりました。その主な要因は、営業投資有価証券1,038,644千円、現金及び預金905,462千円、商品395,283千円の増加であります。

また、固定資産合計は、1,160,471千円となり、前連結会計年度末と比べ980,933千円の減少となりました。その主な要因は、投資有価証券869,485千円、関係会社株式20,170千円の減少であります。

第1四半期連結会計期間より、投資育成目的の有価証券について固定資産から流動資産へと計上区分の変更を行ったことに伴い、流動資産の営業投資有価証券と固定資産の投資有価証券がそれぞれ変動しておりますが、詳細は「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (4) 追加情報」に記載のとおりであります。

() 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は3,161,955千円となり、前連結会計年度末と比べ838,623千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が3,012,589千円となり、前連結会計年度と比べ896,222千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、短期借入金705,428千円、支払手形及び買掛金83,977千円の増加であり、減少要因としては、未払法人税等56,913千円の減少であります。

また、固定負債合計は、149,365千円となり、前連結会計年度と比べ57,599千円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金30,000千円、繰延税金負債27,153千円の減少であります。

() 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は4,813,968千円となり、前連結会計年度末と比べ701,586千円の増加となりました。その主な要因は、資本金394,560千円、資本剰余金390,019千円、為替換算調整勘定38,326千円の増加であり、減少要因としては、利益剰余金118,837千円の減少であります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1,191,409千円増加し、3,744,180千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の減少は、424,557千円となりました。その主な要因は、増加要因としては、未払金の増加額130,531千円であり、減少要因としては、たな卸資産の増加額403,041千円、関係会社株式売却益166,225千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の増加は、115,393千円となりました。その主な要因は、増加要因としては、関係会社株式の売却による収入213,760千円であり、減少要因としては無形固定資産の取得による支出82,258千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の増加は、1,450,807千円となりました。その主な要因は、増加要因としては、短期借入れによる収入1,350,000千円、株式の発行による収入789,120千円であり、減少要因としては、短期借入金の返済による支出662,500千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く事業環境の変化が早く、また当社が展開する事業が多岐にわたっているため、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは、極めて困難であると考えております。そのため、四半期ごとに行っている業績発表に併せて翌四半期の業績見通しを公表いたします。なお、実際の業績が、公表された業績予想の範囲に対し大きく異なる可能性があります。その場合には、速やかに業績予想の修正を公表することといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(営業投資有価証券について)

当社は、第1四半期連結会計期間より、投資育成事業を中核事業として取り組んでいくことを決定いたしました。これに伴い、従来、四半期連結貸借対照表上、流動資産の「有価証券」及び固定資産の「投資有価証券」に計上していた投資育成目的の有価証券を流動資産の「営業投資有価証券」に計上し、また、四半期連結損益計算書上、営業外損益に計上していた当該有価証券に係る損益を「売上高」及び「売上原価」に計上する方法を採用しております。これに伴い、当連結会計年度の期首において、前連結会計年度末の「有価証券」76,129千円及び「投資有価証券」860,977千円を「営業投資有価証券」に組替えております。また、このうち、当第2四半期連結累計期間に売却されたものは、11,759千円であり、この結果、四半期連結損益計算書の売上高が117,942千円、売上原価が11,759千円、営業利益が106,182千円それぞれ増加しております。なお、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,552,771	3,458,234
受取手形及び売掛金	495,701	582,393
有価証券	76,129	-
営業投資有価証券	-	1,038,644
商品	497,788	893,072
コンテンツ資産	6,341	14,546
繰延税金資産	18,705	7,052
その他	647,960	822,126
貸倒引当金	1,090	618
流動資産合計	4,294,307	6,815,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	216,007	216,007
減価償却累計額	145,828	155,638
建物及び構築物(純額)	70,179	60,369
工具、器具及び備品	304,111	304,016
減価償却累計額	271,061	281,397
工具、器具及び備品(純額)	33,049	22,619
有形固定資産合計	103,229	82,988
無形固定資産		
のれん	183,245	166,235
その他	248,691	204,325
無形固定資産合計	431,937	370,561
投資その他の資産		
投資有価証券	1,162,481	292,996
関係会社株式	20,170	-
繰延税金資産	28,742	24,055
その他	394,844	389,870
投資その他の資産合計	1,606,239	706,922
固定資産合計	2,141,405	1,160,471
資産合計	6,435,713	7,975,923

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	366,242	450,220
短期借入金	803,556	1,508,984
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	113,275	56,361
賞与引当金	-	6,415
ポイント引当金	17,735	14,198
その他	755,557	916,410
流動負債合計	2,116,366	3,012,589
固定負債		
長期借入金	90,000	60,000
繰延税金負債	37,114	9,960
資産除去債務	78,254	78,654
その他	1,596	750
固定負債合計	206,964	149,365
負債合計	2,323,331	3,161,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331,417	2,725,977
資本剰余金	2,110,492	2,500,511
利益剰余金	432,088	550,926
自己株式	193,417	182,727
株主資本合計	3,816,402	4,492,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,162	32,603
為替換算調整勘定	137,055	175,381
その他の包括利益累計額合計	209,217	207,984
新株予約権	30,315	28,288
少数株主持分	56,445	84,860
純資産合計	4,112,381	4,813,968
負債純資産合計	6,435,713	7,975,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	5,322,337	5,954,920
売上原価	2,821,177	3,110,429
売上総利益	2,501,160	2,844,490
販売費及び一般管理費	2,424,678	2,998,535
営業利益又は営業損失()	76,482	154,044
営業外収益		
受取利息	364	205
為替差益	-	7,846
持分法による投資利益	-	2,272
投資有価証券売却益	3,002	-
投資事業組合運用益	6,738	8,525
その他	13,009	9,705
営業外収益合計	23,115	28,555
営業外費用		
支払利息	5,865	7,011
為替差損	15,962	-
投資有価証券評価損	534	-
持分法による投資損失	19,573	-
株式交付費	-	710
その他	1,323	1,781
営業外費用合計	43,258	9,503
経常利益又は経常損失()	56,338	134,992
特別利益		
関係会社株式売却益	8,276	166,225
ポイント引当金戻入額	-	3,360
新株予約権戻入益	7,417	-
特別利益合計	15,694	169,585
特別損失		
減損損失	-	73,774
特別損失合計	-	73,774
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	72,033	39,181
法人税、住民税及び事業税	76,710	52,191
法人税等調整額	3,159	15,932
法人税等合計	79,869	68,124
少数株主損益調整前四半期純損失()	7,835	107,305
少数株主利益	16,170	11,531
四半期純損失()	24,006	118,837

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	7,835	107,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,238	39,558
為替換算調整勘定	91,661	38,326
持分法適用会社に対する持分相当額	840	-
その他の包括利益合計	126,740	1,232
四半期包括利益	118,904	108,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,734	120,069
少数株主に係る四半期包括利益	16,170	11,531

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	72,033	39,181
減価償却費	57,248	72,218
のれん償却額	27,609	26,881
株式報酬費用	1,029	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	329	519
賞与引当金の増減額(は減少)	-	6,415
ポイント引当金の増減額(は減少)	4,287	3,537
受取利息及び受取配当金	384	5,681
支払利息及び社債利息	5,865	7,011
為替差損益(は益)	396	3,088
持分法による投資損益(は益)	19,573	2,272
投資事業組合運用損益(は益)	6,738	8,525
投資有価証券評価損益(は益)	534	-
投資有価証券売却損益(は益)	3,002	-
関係会社株式売却損益(は益)	8,276	166,225
新株予約権戻入益	7,417	-
株式交付費	-	710
減損損失	-	73,774
売上債権の増減額(は増加)	72,565	74,474
営業投資有価証券の増減額(は増加)	-	120,262
たな卸資産の増減額(は増加)	9,447	403,041
仕入債務の増減額(は減少)	28,995	82,844
未払金の増減額(は減少)	62,398	130,531
未払消費税等の増減額(は減少)	4,293	18,121
その他	18,864	115,438
小計	175,338	322,928
利息及び配当金の受取額	294	5,640
利息の支払額	5,541	6,825
法人税等の支払額	30,092	108,586
法人税等の還付額	138,262	8,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	278,261	424,557

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	13,981	10,633
無形固定資産の取得による支出	132,014	82,258
投資有価証券の取得による支出	128,622	2,612
投資有価証券の売却による収入	1,829	-
投資事業組合からの分配金による収入	24,398	9,517
敷金及び保証金の差入による支出	14,267	-
子会社株式の取得による支出	61,000	12,000
関係会社株式の売却による収入	14,998	213,760
子会社の自己株式の取得による支出	-	380
投資活動によるキャッシュ・フロー	208,659	115,393
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	1,350,000
短期借入金の返済による支出	300,000	662,500
長期借入金の返済による支出	38,300	30,000
株式の発行による収入	-	789,120
ストックオプションの行使による収入	1,440	4,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	36,860	1,450,807
現金及び現金同等物に係る換算差額	115,364	49,764
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	148,105	1,191,409
現金及び現金同等物の期首残高	2,960,763	2,552,771
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,108,869	3,744,180

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年12月25日付で、株式会社デジタルガレージから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本金が394,560千円、資本剰余金が394,560千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,725,977千円、資本剰余金が2,500,511千円となりました。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	クロス ボーダー 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,205,433	2,560,341	545,748	5,311,523	10,814	5,322,337	-	5,322,337
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	1,378	1,378	1,378	-
計	2,205,433	2,560,341	545,748	5,311,523	12,192	5,323,716	1,378	5,322,337
セグメント利益 又は損失()	163,596	19,551	77,732	260,881	56,547	204,333	127,851	76,482

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 127,851千円には、セグメント間取引の消去4,438千円、各報告セグメントに配分していない全社収益120,656千円及び全社費用 252,946千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	クロス ボーダー 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,628,185	2,348,733	843,521	5,820,440	134,479	5,954,920	-	5,954,920
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	51	-	51	2,050	2,101	2,101	-
計	2,628,185	2,348,784	843,521	5,820,491	136,529	5,957,021	2,101	5,954,920
セグメント利益 又は損失()	4,136	16,303	31,341	19,173	82,939	63,765	90,279	154,044

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 90,279千円には、セグメント間取引の消去3,231千円、各報告セグメントに配分していない全社収益126,412千円及び全社費用 219,922千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間より事業構造の変化と各事業の成長に合わせて事業セグメントを変更しております。変更内容は以下の通りです。

「ギャザリング部門」を「リテール・ライセンス部門」に変更

主な販売方式をギャザリングという売り方からワンピースでの販売方式にシフトしたこと、商品プロデュース・ライセンス事業の拡大により、新規事業の集合体である「インキュベーション事業」から分離させ、従来の「ギャザリング部門」と統合し、セグメント名称を「リテール・ライセンス部門」に変更いたしました。

「クロスボーダー部門」に「転送サービス・代理購入事業」を追加

転送サービス・代理購入事業の拡大により、新規事業の集合体である「インキュベーション事業」から分離させ、「クロスボーダー部門」に区分いたしました。

「インキュベーション事業」に「投資育成事業」を追加

投資育成事業を本格化することに伴い、グループの主要事業として注力してまいります。それに伴い、セグメント情報においては「インキュベーション事業」に区分いたしました。

この区分方法の変更は前第2四半期連結累計期間のセグメント情報に反映しております。